

令和4年度 自己評価結果公表シート

認定こども園フレンド幼稚園

1. 本園の教育目標

のびのびいきいきした保育の中で、未来を担う、「心」・「知」・「体」を育成します。
 「心」 友だちから相互に学びあい、友だちと幸せを共有できる心を育てます。
 「知」 自分で考える知力を育成し、子どもの無限の可能性を芽吹かせます。
 「体」 「心」「知」の基礎になる、元気に遊べる健康な体を育てます。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

教職員が評価項目に沿って、自己評価することによって、自ら客観的に自園を見る目を養い、施設の改善、教育内容の改善等に主体的に取り組んでいくことを重点項目とする。

3. 評価項目の達成及び取組状況

課 題	具体的な取り組み方法
教職員の資質向上を図る	自己の指導力向上のため、園内外の研修会に積極的に参加すると共に、その研修成果を日々の保育に生かせるように努めた。また、園で独自に定める研修受講ポイント数を上回るように努めた。
新任保育教諭の育成	新任保育教諭の育成を目指し、主幹保育教諭・学年主任を中心として実践力向上に向け丁寧な指導を心がけた。また、常に支援できる体制作りと精神面でも支えていけるように努めた。
子育て支援	子育て支援活動の一環として行っている「フレンドクラブ」の活動内容を検討すると共に保護者アンケートなども行い、さらに充実したものになるよう努めた。また、コロナ禍で2年間中止していた、地域の未就園児を対象とした、「園庭開放」、「親子教室」など感染予防を行いながら、親子で楽しく触れ合える機会と場を提供できるよう努めた。
安全管理	安全管理マニュアルの見直しと整備を行い、管理下での園児への安全教育を強化した。緊急時の対応策について、全教職員で研修等を定期的実施した。
保育園との連携	同法人の西保育園との連携を深めるように努めた。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

取り組むべき課題について、教職員が共通に理解し、各自が適切に自己点検、自己評価を行うことで、自己の課題、園としての方針を明確にすることができた。また、今年度中に目標に達しなかったところ、不十分であったところについて反省を行うと共に、今後も幼児の成長発達のためよい援助ができるよう努力したいと考えている。

5. 今後取り組むべき課題

評 価 項 目	取 組 状 況
人材確保	各種団体主催の就職フェアの参加、養成校訪問等により、新規卒業者、OB 教諭の復帰、保護者から有資格者の採用を積極的に行う。
教務改善及び合理化の推進	教職員の不要な負担を減らし、教育保育の質を高めることを目的として、教職員間で従前の業務のあり方を再度見直し、改善すべき課題をリストアップし、合理化や代替策により、積極的な改善を図る。
教職員間の意思疎通と協力体制	専任教諭・非常勤教諭・事務職員などの職種等の違いによる連携ミスがないように努めると共に、コミュニケーションを取りながら意思の疎通を図り、連絡・伝達事項はチャットワーク、メール等を活用し、教職員間で周知徹底するように努める。
安全対策	通園バスに安全装置を設置する。 設備面において、改善の必要とする箇所については、早期に対応する。

5. 財務状況

公認会計士監査により、適正な運営がされていると認められている。